

紫金山公園の目指すべき姿（案）に対する提出意見と市の考え方について
1 提出期間 令和7年（2025年）3月24日（月曜日）～令和7年（2025年）4月24日（木曜日）
2 提出意見数 156件（34通）
3 提出意見と市の考え方 以下のとおり

意見分類	提出された意見(要約)	市の考え方
1 目指すべき姿に関する御意見 【10件】	・全体として賛同できる内容だと思う。 ・大企業優先のまちづくりをせまられつつも、住民の意見、運動を反映させ、市民のいこの場、貴重な里山としても残す、柴金山公園のあるべき姿（案）にしてほしい ・名神高速の環境対策や高架下問題・都市計画道路の建設、それに伴う岸部第二小学校の周辺環境問題、岸部北区の環境影響・博物館の大規模改修など、解決していくべきものが多い中、なぜいま「目指すべき姿」を策定しようとしているのか。 ・紫金山公園風土記の丘構想のその後の経過も含めて、案を練り上げてほしい。 ・公園の中の計画も示していないのに、名神や大阪府との連携というのはどうやって進めるのか。検討します、連携します、努めますなど全体的にぼやっとしている。 ・目指すべき姿の実現には最大限の努力を行って頑張るって。 ・市民の声を聞きながら進めてほしい。 ・パークビジョンが目的から外れなければ良いと思う。 ・目指すべき姿（案）はこれまでのワークショップの意見をよく反映されていると思う。 ・ゾーン別運営方針の下図について、今後公園区域が拡大することなどを考えて、区域外周辺も黄緑色に着色しておくべき	「目指すべき姿」とは、具体的な施設内容等を描くものではなく、公園の理念や目標像、おおまかな方向性を示すもので、公園の再整備、管理に関わる多様な主体で共有することにより、同じ方向を向いて、事業を進めることができます。本公園では吹田風土記の丘・紫金山公園基本計画の基本的な考え方を踏まえながら、アンケートやワークショップ、社会実験の意見等を取り入れて作成いたしました。策定に至った経緯としては、担い手不足が懸念されている市民活動に対する支援のため、民間事業者のノウハウやアイディアの活用を早期に実現する必要があったことが挙げられます。 なお、目指すべき姿を元に、今後10年間程度を見据えた具体的な管理運営の実行計画として、「パークマネジメントプラン」の作成を予定しています。 黄緑色の着色は背景の色であり、公園区域を示したものではありません。
2 管理施設（管理事務所）の整備に関する御意見 【4件】	・パークセンターを北広場に、ビジターセンターを博物館横に配置する等、性格の異なるものは別途に整備していくべき ・元々博物館東側への建設が予定されていたビジターセンターの構想場所について、点線などで記載が必要 ・梅園の整備などを行うボランティアの基地等としても、ビジターセンターの整備は必須 ・パークセンターやビジターセンターは博物館の横に建てるのであれば、どう活用するのかを具体的に記載すべきだ。	パークセンターの必要機能を検討する中で、ビジターセンター整備基本構想で掲げた機能等について、複合化も含めた機能の整理・見直しを図るなど、引き続き博物館と連携してまいります。
3 管理施設（柵）の整備に関する御意見 【1件】	・釈迦ヶ池に乗り越え可能な柵を見直し、池周りの外灯増設を検討してほしい。	釈迦ヶ池への侵入防止柵は、釈迦ヶ池土地改良区と調整の上、補修・更新を進めてまいります。池回りの外灯設備につきましては、公園施設でないため、同改良区へ御意見として共有させていただきます。
4 管理施設（掲示板）の整備に関する御意見 【3件】	・里山管理等に興味を抱く看板や峠等に道標（ネーミング等）の充実を ・まずは今ある公園の復活をするべきで、掲示板の塗料がはがれていたり、表記があいまいで分かりにくかったりするため、修繕してほしい。 ・南北の往来が分かりづらく、行き来しづらいため、案内板を設置してほしい。	目指すべき姿に記載のとおり、案内及び説明サインの整備・更新を実施してまいります。いただいた御意見は再整備の際に参考にさせていただきます。
5 修景施設（植栽等）の整備に関する御意見 【6件】	・モニタリングをしっかり行い、今後の長期管理推測を。 ・昆虫や身近な動植物の発生源として、縮小しないよう管理していくべき ・近寄りがたいイメージを払しょくするため、適切な樹木伐採管理や、ソーラー電力を活用した夜間照明ライティングを行い、見通しや景観性を向上させてはどうか。 ・Aゾーンに植樹して、夏でも涼める森を作してほしい。 ・ヒメボタルやオオムラサキが生存できるような環境整備を行ってほしい。 ・生物多様性空間とビオトープコリドール等については、地域の里山・耕作地などをつなぎ、歴史性等からも再見直しする。	Aゾーンにつきましては、適切な樹木管理などにより、安心・安全な利用環境を確保してまいります。 Bゾーンの活用を含め、生物多様性の回復・向上につながる管理施策につきましては、関係部局との調整を図りながら、公園協議会の中で協議してまいります。 C・Dゾーンにつきましては、調査を行いながらその結果に合わせて対応を変える順応的な管理を実施し、魅力的な環境の保全に努めてまいります。

6	園路の整備に関する御意見 【7件】	・園内の地形を生かしたトレイルランニングコースを整備し、ランニング・ウォーキング・ヨガなど、健康増進の起点として活用してはどうか。 ・釈迦ヶ池を一周できるよう、散策路の整備を行ってほしい。 ・里山ゾーン内の散策路を平瓦で2m幅ぐらいの通路として整備してはどうか。また、ここに竹製のベンチがあったら紫金山公園らしいかなと思う。コバノミツバツツジを更に増やし、景観をさらに美しく。マクラギどおりやLEDと竹を使った竹明かりどおりなどが在ると吹田らしくなるのではないかな。 ・北広場への案内連携を進め、釈迦ヶ池や名神高架下回遊性を ・名神の下が回遊できなくなっているため、回遊できるような整備をしてほしい。 ・バリアフリー整備には検討が必要。 ・南北をもっと行き来しやすくするために、起伏の多い道を平坦な道にしてほしい。	園路につきましては目指すべき姿に記載のとおり、安全性向上やバリアフリー化、健康づくりを目的とした補修・更新を行ってまいります。当公園の設置位置が元々山であったことや、里山ゾーンに関しては環境保全を実施していく予定であることなどを考慮すると、起伏のある地形を平坦にすることは難しいですが、いただいた御意見につきましては、今後具体的な再整備内容を検討する際に参考にさせていただきます。 また、名神下や釈迦ヶ池周辺を含む園内の回遊性につきましては、西日本高速道路株式会社や釈迦ヶ池土地改良区と調整し、利便性の向上に努めてまいります。
7	便益施設（便所）の整備に関する御意見 【3件】	・吹田の里ゾーンにのみトイレ再整備の計画が記載されているが、北広場ゾーンや、子供の遊び場ゾーンのトイレも改修や修繕を検討すべきだ。北広場のトイレについては、ビクトサインに色を挿すなど、感覚的に分かり易いように塗装し、子供の遊び場ゾーンのトイレはプライバシーを考え、外から見えないようにするのはどうか。また、トイレの手洗い場にある水栓は、衛生を考慮して、自動水栓にしてはどうか。 ・子どもも大人も集える場になるため、トイレの整備をしてほしい。 ・トイレが非常に汚く、照明も暗いため、明るく見通しの良い仕様に変更してほしい。老若男女が使用する施設についてはバリアフリー整備してほしい。災害時（停電時）なども蓄電などで発電するような機能の拡充を図ってほしい。	各ゾーンのトイレにつきましては、安心・安全・快適・高質なトイレ環境を目指して、改修を実施いたします。 なお、トイレの計画が吹田の里ゾーンにのみ記載されているという御意見を受け、ゾーン別運営方針の全体へトイレ改修の記載を移動いたしました。
8	便益施設（飲食店）の整備に関する御意見 【3件】	・釈迦ヶ池のほりに、バードツリーカフェのようなカフェ空間を設けてはどうか。 ・大学や企業と連携し、都市農業を実践し、市民が実際に農業に触れる機会を提供し、園内のカフェやマルシェで販売してはどうか。 ・賑わいは飲食ではなく、地域の祭りなど、公園使用で作るものではないかな。	飲食店の設置につきましては、ニーズ調査のアンケートの結果から、市民によるニーズがあることを確認しておりますが、当公園への設置は、都市計画道路の整備や環境保全など、今後の状況も踏まえて、慎重に検討すべきと考えております。 なお、農業の実践につきましては、地域経済振興室と農家団体が共催で、市民に参加を募り、田植え、稲刈り等の農作業体験ができる事業（ふれ愛農園）を実施しています。
9	都市公園の効用を全うする施設（防災）の整備に関する御意見 【7件】	・博物館を地域の防災拠点として使用してはどうか。 ・大きな災害が起こる可能性も高まる昨今、避難できる空間としての公園の役割を備えてほしい。 ・災害に対して柔軟に対応し～ 災害時に活用できる～の部分は民間の力を借りるのが有効だと思う。 ・かまどベンチがあり、定期的に体験できると防災意識も高まり有事の際に活用できると思う。 ・防災に関しては検討が必要。 ・広域避難場所と指定されている割には災害対応の設備はない。防災倉庫など、屋外拠点として対応できるようにしてほしい。 ・災害時にも役立つため、きちんとした手洗い場を複数箇所増設してほしい。	目指すべき姿に記載のとおり、北広場ゾーンにおいて、地域防災力向上に係る機運の高まりに対応したハード面、ソフト面の充実を図ります。具体的な再整備内容につきましては、いただいた御意見を参考にさせていただきます。
10	遊戯施設の整備に関する御意見 【5件】	・ハンモックコーナーを設けてみてはどうか。 ・園内にボルダリング施設を設けてはどうか。 ・子供の遊び場ゾーンにエキスポシティにあるようなアスレチック遊具を設置してはどうか。 ・紫金山公園の利用を高めるためには、遊具が最も効果的ではないか。特徴のある遊具や健康器具の導入をしてはどうか。 ・子供たちの遊びに遊具を充実させるだけでなく、横浜市のプレーパークのような自然を活かした遊びができる場所を作してほしい。	目指すべき姿に記載のとおり、子供の遊び場ゾーンについては既存の遊具の補修更新により安心して遊べる空間を創出します。その他のエリアにおける遊具や健康器具などの具体的な再整備内容につきましては、いただいた御意見を参考にさせていただきます。

11	休養施設（休憩所）の整備に関する御意見【1件】	・魅力を発信するデザイン力を高めるため、また、場所のわかりにくさの解消のため、園内の休憩所等を再整備し、休憩所自体を斬新でわかりやすくお洒落なデザインにしてはどうか。各休憩所で花などを楽しめるような整備にしてはどうか。そのために、休憩所デザインについては、市民からのコンテストや若手建築家、コンペがよい	休憩所などの公園施設につきましては、公園施設長寿命化計画に基づき、市内公園の中で老朽化したものから優先的に修繕・更新を行っているところです。具体的な再整備内容につきましては、いただいた御意見を参考にさせていただきます。
12	休養施設（野外卓）の整備に関する御意見【2件】	・北広場の東にある小広場で、北と南の両端に階段状のウッドデッキを設け、休憩所兼20名程度のミニコンサートやお茶会などができるようにしてはどうか。 ・ゾーンにある釈迦ヶ池近くの通路状(行き止まり)の広場に、お洒落なイス、屋外彫刻などを設け、静かに釈迦ヶ池の景観やカモなどを眺め・観察する広場として整備してはどうか。	野外卓や椅子の設置につきましては、ニーズに応じて検討してまいります。鎮守の森ゾーンにおきましては、目指すべき姿に記載のとおり、安全な散策路から自然観察等が行える環境整備に努めます。具体的な再整備内容につきましては、いただいた御意見を参考にさせていただきます。
13	休養施設（ピクニック場）の整備に関する御意見【1件】	・南側が暗く、入りづらいため、芝生ピクニックゾーンを新設する。	南側、（公園区域における、岸部北方面）特に、里山ゾーンにつきましては、調査を行いながらその結果に合わせて対応を変える順応的な管理を実施し、魅力的な環境の保全に努めてまいります。
14	休養施設（キャンプ場）の整備に関する御意見【3件】	・公園内に滞在型のグランピング施設を設け、自然の中で特別な時間を過ごせる空間を創出してはどうか。 ・北広場ゾーンはアウトドア系の施設やイベントを催し、賑わいを創出してはどうか。 ・正面にマンションがあるため、BBQスペースの設置などには反対だ。	目指すべき姿のゾーン別運営方針に記載のとおり、北広場ゾーンに関しては、周辺環境を勘案しながら、ハード面のみではなく、イベントの開催などを含めた多様なニーズに対応した空間を創出してまいります。
15	運動施設の整備に関する御意見【1件】	・全ての人が楽しく運動できる器具を増やしていろんな人が運動に来てもらえる公園がいい。	目指すべき姿に記載のとおり、既存の遊具の補修・更新により、安心して遊べる空間を創出してまいります。すべての人が楽しく運動できるような健康器具等につきましては、社会実験の中でも御意見としていただいております。今後、具体的な再整備内容を検討する際に参考にさせていただきます。
16	ドッグランの整備に関する御意見【6件】	・ドッグランは飼い主のマナーや良識について啓発する取組にしてほしい。 ・ドッグランは愛犬家の希望と思われるが、反対意見も多いであろうから、今回は見送った方がよいと思う。 ・犬の散歩が多いが、市内に公園併設のドッグランが無いため、開設してほしい。 ・ペットと暮らしやすい街づくりをするため、先駆けとしてドッグランを作るのはどうか。 ・既に犬の散歩に供されており、特別な施設は不要であるため、「ドッグランなど」を削除してほしい。 ・池に水鳥が飛来するために犬の鳴き声は悪影響になる。ドッグランの設営には反対だ。	ドッグランの設置につきましては、運営方法を含めて、設置の可能性を社会実験等で引き続き検討していく必要があると考えています。
17	その他の整備に関する御意見【2件】	・里山ゾーンに薪式フィンランドサウナ+災害時にも利用できる釈迦ヶ池の濾過水を利用した水風呂などを設置し、週末に自然音サウンドバス、サウナ瞑想のイベントを実施してはどうか。地元材を用いて、ローカル循環型施設に。 ・子どもの遊び場、ファミリー層のレジャー、大人の里山整備・植物観察などが共存できるような整備をしてほしい。	目指すべき姿に記載のとおり、里山ゾーンにつきましては魅力的な里山環境の保全を目指しており、この運営方針に則した再整備に努めてまいります。 目指すべき姿に記載のとおり、ゾーン別に再整備・管理を行ってまいります。多世代が集えるような環境整備に努めてまいります。

18	公園協議会に関する御意見【6件】	・目指すべき姿を実現するためには関係者団体の協議会を設置し、運用する必要がある。 ・市が主体となり、市民と共に公園について議論する場として既に適切なものがあることを示すため、「公園協議会の設置など」を「紫金山公園運営協議会を発展させ」に改めてほしい。 ・「公園協議会の設置など多様な主体が参画する公園を目指します。」について、公園協議会の設置を目指すことが目的ではなく、広く市民など多様な意見を聴き、公園のあり方を継続的に見直し検討・提案していける組織として活動することが必要である。 ・紫金山公園運営協議会の復活 ・「市民による新たな利活用を促し、市民、事業者、行政など、多様な主体が協働して公園を利用・管理する持続可能な仕組みを考えていくことが必要となります。」を「市民による新たな利活用と継続的な管理を促すために、「紫金山公園運営協議会」を再構築するなど市民と行政とが協働して公園を利用・管理する持続可能な仕組みを考えていくことが必要となります。」としてほしい。 ・「公園協議会の設置など多様な主体が参画する公園を目指します。」を「紫金山公園運営協議会の再構築など、市民と行政が主体となって管理運営する公園を目指します。」にしてほしい。	公園協議会は、多様な主体が構成員となり、公園の活用の方向性、地域ニーズに応じた利用ルールの策定、イベント開催に向けた協議・調整、ボランティア活動の活性化・支援などを合意形成のもと進めるものです。 本公園では、目指すべき姿の実現に向け、設置・運営してまいります。構成メンバーは会の円滑な運営を目指して検討しますが、いただいた御意見については、参考にさせていただきます。 なお、公園協議会の設置が目的ではないとの御意見を受け、当該部分の記載を「公園協議会の設置運営を通じて、」と修正しました。
19	公園利用ルールに関する御意見【2件】	・騒音やにおいて住民トラブルに発展する可能性があるため、打ち上げ花火等の規制強化を行ってほしい。 ・テントを持ち込んで子供が遊ぶスペースにかかっており、棲み分けた方が良い。	公園利用のルールや規制につきましては、公園協議会で話し合いをしてまいります。その際、いただいた御意見を参考にさせていただきます。
20	イベントに関する御意見【6件】	・マルシェ、ワークショップ、キッチンカーなどを定期的に開催し、世代を越えて、市民の出会いの場とするのはどうか。 ・キッチンカーやマルシェの実施については、北広場で開催することで子供たちが遊ぶスペースが少なくなるため、反対だ。 ・近隣の住民や子供たちが楽しく遊べる「にぎわい」の企画があるとよいのでは。 ・岸辺神社のお祭りの際に来店しているベビーカステラ屋のように、南側公園にもキッチンカーを呼び込み、賑わいを創出してはどうか。 ・公園内にたばこやティッシュなどが放置されている状況にあるため、ごみ収集などを社会実験でやってみてはどうか。 ・MoriMoriDayのように行政主導ではなく地域が主体となるイベントの引き出し、後押ししてほしい。	紫金山公園で実施するイベントは市民交流の機会増進の場として活用できるものと考えております。 地域、市民の交流増進や、魅力向上のために実施するイベントに対し、後押しができるような仕組みづくりを進めてまいります。
21	ボランティア支援に関する御意見【4件】	・保全活動をしている市民団体が活動しやすいように補助金の充実等をしていくことを盛り込んでほしい。 ・「紫金山公園みどりの会」の方々が、地道に自然の保全活動をしてこられた経過を大切にして、今後の方向性や方針を示してほしい。 ・公園の管理活動として花壇の整備や、釈迦ヶ池土地改良区と協議の上、定期的な池中清掃活動へ市民が参画し加われるように ・里山ゾーンは放置すると、常緑樹林に遷移が進み、生物多様性が大きく損なわれるため、適切な管理をする必要がある。市民活動に持続性を持たせるためには行政の支援が不可欠だ。	公園の魅力の一つである里山環境・景観を維持されている市民団体の継続は重要であると認識しており、既存の支援を続けるとともに、新たに参加されるボランティアや、新たな市民活動等のニーズに応じて支援内容を検討してまいります。 また、里山ゾーンにつきましては、調査を行いながらその結果に合わせて対応を変える順応的な管理を実施し、魅力的な里山環境の保全を目指してまいります。
22	他事業所や関係機関との連携に関する御意見【3件】	・釈迦ヶ池やネクスコとの調整や吉志部神社、博物館との連絡、都市計画道路に関してほとんど触れられておらず、納得できる内容ではない。 ・山火事対策を行うために、関係機関への通報方法などを事前に用意しておいた方が良く思う。既にそういったルールが整備されているのであれば、これを機に周知するのはどうか。 ・目標像の中で、他部署の政策との連携・表現方法は。	目指すべき姿の達成のため、今後も、必要に応じて、他部署や関係機関と調整・連携を図ってまいります。

23	デジタルコンテンツ整備に関する御意見【3件】	・デジタル技術を活用し、公園の魅力（コバノミツバツツジ、吉志部瓦窯跡、釈迦ヶ池など）をAR/VRなどの技術で発信 ・スマホの位置情報の博物館や吉志部神社などの位置から、大まかな自分の位置を把握できるが、十分ではないため、より詳細な園内施設（休憩所や広場、散策路など）の情報が分かるようにしてはどうか。散策路については、難易度別に表記したり、距離表示を入れてはどうか。また、広場や休憩所に分かり易い名称をつけてはどうか。 ・樹木や草花に名札を設け、QRコードなどを用いることで調べられるようにしてはどうか。	目指すべき姿に記載のとおり、デジタルコンテンツの整備や、利便性向上のための整備を進めてまいります。具体的な整備内容につきましては、いただいた御意見を参考にさせていただきます。
24	園内の特定外来生物に関する御意見【1件】	・ミシシippアカミミガメ、ウシガエル、アメリカザリガニ、カダヤシ、ブルーギル、アライグマなどの多くの特定外来生物が生息しているが、これらの駆除へ対策を講じないのか？	目指すべき姿に記載の通り、生物多様性に富んだ環境づくりを行ってまいります。市民による在来種の保全活動の支援など、具体的な施策につきましては、公園協議会の中で話し合います。
25	紫金山公園保全に関する御意見【14件】	・紫金山公園は自然及び歴史的にも重要な場所であり、これらを未来に残す必要がある。 ・いかに今の自然を守っていくかが大事なため、魅力を発信するデザイン力を高めたり、新たな風を吹き込む必要はない。 ・町なかにあって紫金山公園の里地里山という魅力的な環境が維持された環境は貴重であるため、この環境を残し、子供たちが自然を体感できる場所であり続けてほしい。 ・田んぼ環境は生物多様性の観点から、大変貴重な環境であるため、残してほしい。 ・住民の憩いの場であり、自然豊かな環境が紫金山の魅力のひとつなので、今の良さを残し、古くなった環境を整備しつつ、維持してほしい。 ・釈迦ヶ池や吉志部神社同様、紫金山の姿を残してほしい。 ・自然がいっぱいの紫金山公園にはカフェもお店も必要ない。市民の憩いの場として、このまま残してほしい。 ・公園は公園のままで、自然の保全を強く望む。 ・紫金山公園は吉志部神社・釈迦ヶ池・博物館をはじめ田んぼもあり緑豊かな鎮守の森もある公園で、自由に使える芝生公園・自由に散策できる南側の自然をこのまま残してほしい ・公園に賑わいを、と強調しているが、豊かな今ある自然を必要な手入れをしつつ歴史的観点からも市民の憩いの場としてもぜひ保全してほしい。 ・紫金山公園のこのままの環境をそっくりそのまま残していき続けるようにしてほしい。 ・ボランティアに守られてきた自然豊かな紫金山公園は今のままにほしい。人工的なものに変えてしまうのはやめてほしい。 ・CDゾーンの鬱蒼とした森も、明るい樹林帯も残してほしい。 ・里山管理・周辺農地の保全も重要。	紫金山公園が持つ豊かな里山環境や歴史、文化につきましては、本公園の重要な魅力と認識しており、これらを維持・活用し、更なる魅力向上を目指してまいります。また、市民団体と連携して里山環境の保全活動に取り組むことが、生物多様性の回復・向上に貢献するものと考えており、異なる世代や分野で活動する市民が交流し、新たなつながりが生まれる機会を創出してまいります。さらに、デザイン力の向上等につきましては、紫金山公園の魅力をより幅広い世代に向けアピールするために必要であり、これらの魅力を知ってもらうきっかけになるものと考えております。

民間事業者に関する
御意見
【18件】

- ・主体が市民と行政であることを明確にするため、「魅力を発信するデザイン力を高めたり～ことも必要です」を魅力を発信するデザイン力を高めます」に変えてほしい。
- ・主体が市民と行政であることを明確にするため、「市民、事業者、行政など、多様な主体が共同して」を「市民と協働した行政を主体として」に変えてほしい。
- ・行政として主体的に発信することを明確にするため、「市民など多様な主体とともに」を「市民とともに」に変更してほしい。
- ・民間事業者主体となると、住民の意見の反映を困難にし、行政の力量低下、ノウハウの喪失、職員の監督能力の欠落を招くため、公園の施設整備も管理運営もPark-PFIや指定管理制度を用いないでほしい。
- ・江坂公園と桃山公園では、人工物が少ないことなどから桃山公園の方が良い。桃山公園の公園協議会を傍聴したが、事業者の企画優先に見える。なんでも民間丸投げの今の市のやり方はよくない。
- ・課題や目標像の中に事業者や企業等という文言が入っており、行政主体から指定管理へ移行する方針がうかがわれる。企業が入ると利益優先の懸念があり、今ある自然保全を第一に考えてほしいため、市民団体の力を借りながら行政主体で進めてほしい。
- ・紫金山公園に関しては、従来の風土記の丘構想に基づき、市が責任をもって維持していくことが大切だと思う。
- ・行政とみどりの会を中心にこの公園の管理を進めて行ってほしい
- ・維持管理に関係のないキッチンカーなど、儲けるための事業者になぜ場所を提供するのか。Park-PFIも飲食店を念頭においていることだろうが、近くの飲食店と競合するものを市有地に設ける必要は無い。
- ・キッチンカーを含めた中小企業支援策は充実させてほしい。
- ・吹田市の予算が開発指向でなく、自然と調和する住民本位の方角に向かえばそもそもPark-PFIは不要ではないか。
- ・この方針を掲げた吹田市は、今後、公園管理や修繕等の責任を持ちそうになく、矛盾を感じる。
- ・以前吹田市が行ってきたアンケートでも、ワークショップでも、多くの市民の皆さんが現在の紫金山公園の豊かな自然や歴史的・文化的な足跡、神社との共存、自由に遊べる芝生広場など肯定的な評価をされていた。それは行政と市民団体によって整備が行われてきたことによるものであり、なぜ利用・管理する主体に事業者が突然入ってくるのか。
- ・紫金山公園の管理については、これまで通り行政が主体的に責任をもって行ってほしい。多様な主体と共に、という文言が良く記載されているため、不安を感じている。「紫金山公園基本計画・風土記の丘構想」に沿って整備を進めていくのは市でないとできないと思う。
- ・概要の部分は、まさにその通りだが、公園の課題③でいきなりキッチンカーやマルシェ、事業者が出てくるのは理解できない。
- ・地域における生物多様性保全で知見のある民間事業者などとの…とあるがそんな事業者など存在するのか。NPOや大学等の研究機関の協力を求めるのであれば、現在のボランティアで支えられてきた部分を行政が責任をもってやればいいのかと思う。
- ・「市民・事業者・行政など～」の部分から「事業者」を削除する。事業者は市民の共有財産を利用して稼ぐのが事業目的であり市民意見に反した行動を取る事例がたくさんあるため、主体から外してほしい。
- ・「計画の基本的な考え方や、これまでの取組を踏まえつつ、魅力を発信するデザイン力を高めたり、地域における生物多様性保全に知見のある民間事業者などとの連携など、新たな風を吹き込むことも必要です。」を「計画の基本的な考え方や、これまでの取組を踏まえて、市民と行政との連携により紫金山公園の豊かな自然と歴史・文化をより充実、発展させることが必要です。」としてほしい。

民間事業者などとの連携につきましては、民間事業者などが有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上を図ることができ、施設の設置目的を効果的に達成することができると考えております。

現状、公園の整備や管理は、民間事業者などに委託しながら行っており、本公園管理に携わる多様な主体の1つとして、さらには生物多様性保全やボランティア団体支援等のためにも、民間事業者などの参画は必要だと考えております。民間事業者などをパートナーとし、役割分担のもと、本市は引き続き、本公園の管理運営に行政としての責任を持って主体的に関わります。

また、民間事業者などの参画により、市民協働や地域や関係団体との連携を促進することにも寄与すると考えております。

指定管理者制度やPark-PFI制度は公園の管理や整備の具体的な手法の一つであり、目指すべき姿にも記載しておらず、現時点でその手法を定めるものではありません。

なお、「生物多様性に知見のある民間事業者」とは、自然環境調査を専門とするコンサルタントや、環境学習プログラムや企業の森づくり支援など生物多様性の知見を必要とする業務を行ったことのある事業者等を想定しています。

27	文言修正に関する 御意見 【11件】	・「活動のPRチラシ」について、吹田市の活動と誤解される可能性がある。「活動のPRチラシ」を「紫金山公園の保全活動を行ってもらっている紫金山みどりの会の活動のPRチラシ」としてほしい。	当該箇所の表現を改め、紫金山みどりの会の出典であることを明記しました。また、他のチラシを追加で掲載するとともに、多世代へのPRチラシとして、イメージがしやすいものとししました。
		・「水辺探索ゾーン」のところで、「・水際の植栽の管理、安全柵の補修などにより、安心して釈迦ヶ池の景観を楽しめる空間を創出します。」を「・水際の植栽の管理、安全柵の補修、更には土地改良区と連携して釣りの禁止徹底などにより水鳥の飛鳥促進など、安心して釈迦ヶ池の景観を楽しめる空間を創出します。」としてほしい。	市としても水鳥の飛来を楽しめるよう、ルール順守の呼びかけなど、釈迦ヶ池を所有・管理している釈迦ヶ池土地改良区と連携協力してまいります。
		・「つながりを実感できる憩いの場を実現！」としてほしい。公園で暮らすわけではないので、「憩いの場」を実現できる公園としたい。 ・公園とは”憩い”の場所であり、”暮らし”の場所ではない	公園は憩うだけではなく、誰かと遊んだり運動したり集うなど、人と人とのつながりの場と考えています。当該部分を「人と人とのつながりを実感できる場を形成！」に修正しました。
		・「■地域に受け入れられるイベントなどを通じて」を「■地域や市民が行うイベントなどを通じて」としてほしい。	昨年11月に開催した紫金山MoriMoriDayは子供から大人まで楽しめるイベントとして、多くの集客を図ることができました。このようなイベントを「地域に受け入れられるイベント」として想定しており、の中には地域や市民が行うイベントも含んでおります。
		・「■都市地域に残る貴重な自然として保全活動に取り組む中で、市民団体と連携し、名神南側のエリアでの自然共生サイトへの登録による、企業などとのマッチングを促進するとともに、地域の生物多様性の回復・向上に貢献する空間を創出します。」を「■都市地域に残る貴重な自然として保全活動に取り組みます。名神南側のエリアでの自然共生サイトへの登録など、市民団体と連携し地域の生物多様性の回復・向上に貢献する空間を創出します。」としてほしい。	「企業などとのマッチング」については寄附等の支援もあることから、企業にこだわらず、広く支援者とし、次のとおり修正しました。「■都市地域に残る貴重な自然として市民団体などと連携し、保全活動に取り組みます。名神南側のエリアでの自然共生サイトへの登録による、支援者とのマッチングを促進するとともに、地域の生物多様性の回復・向上に貢献する空間を創出します。」
		・「歴史と文化、個性のある公園づくりを実現！」としてほしい。「活力ある」とは何を指すのか不明瞭。	本公園が健康で豊かな暮らしを支えるものと言えるため、当該部分を「まちの個性や市民の暮らしに貢献する公園づくりを実現！」と修正しました。
		・メンバー減少も懸念され…一方でキッチンカーやマルシェなどとあるが、キッチンカー等の活動は従来為されてきた市民による環境保全活動とは違うものではないか。	当該部分については、想定していた活動がどちらも市民活動であったため、このように記載しておりましたが、「メンバーの減少なども見られるようになっています。一方でキッチンカーや…」の部分の「一方で、」を「また、」に書き換えました。また、キッチンカー、マルシェの内容を包含するため、標題を「③市民活動の次世代への継承、活性化」と改めました。
		・「現在園内では市民団体による環境保全活動が継続的に行われていますが、メンバーの減少なども見られるようになっています。」は、認識も違っており、行政文書として一市民団体の内情について記載することは不適切である。「現在園内では市民団体による環境保全活動が継続的に行われており、そうした活動が今後も継続的に進めていけるよう支援することが求められます。」としてほしい。	当該部分より、「メンバーの減少」の文言を削除しました。また、継続的な管理を促進する仕組みづくりを行う意を明記するため、「市民による新たな利活用や継続的な管理を促し、公園協議会など、」を追記しました。
		・キッチンカー・マルシェの運営は行政が主体的に介入する問題ではない。	本市が、市民自ら企画運営するマルシェやキッチンカーなどのプログラムを支援するもので、主体的に誘致・開催をするものではありません。
		・「紫金山公園は起伏に富み、市民ボランティアによる散策路整備など、健康づくりや身近で気軽に心身のリフレッシュが図れる場ですが、樹木が鬱蒼と茂っていて「近寄りがたい」と感じている利用者もいます。公園内の複数の広場が分断され、場所のわかりにくさ、移動のしづらさが感じられます。」を「紫金山公園は健康づくりや身近で気軽に心身のリフレッシュが図れる場となっています。南側は樹木が多く起伏に富む地形となっており、市民ボランティアによる散策路整備などが行われていますが、複数の広場が分断され、場所のわかりにくさ、移動のしづらさが感じられます。」としてほしい。	「南側は起伏に富み、市民ボランティアによる散策路整備などが行われていますが、公園内の樹木による見通しの悪い箇所や、複数の広場が分断され、場所のわかりにくさ、移動のしづらさが感じられます。」と修正しました。

28	既存計画（風土記の丘基本計画）に関する御意見【2件】	・新風土記の表現、消失してしまった吉志部神社と周辺を50年先へ向けた文化財のある風景の創造へ向けて再整備 ・里山景観・風土記の丘整備の記載が無い。	目指すべき姿に記載のとおり、吹田風土記の丘・紫金山公園基本計画の基本的な考え方を踏襲しております。
29	釈迦ヶ池に関する御意見【2件】	・釈迦ヶ池の管理活動への地域参画へのいざない ・釈迦ヶ池の水を綺麗にしてほしいため、釈迦ヶ池土地改良区と協力して取り組んでほしい。	釈迦ヶ池土地改良区とはこれまで情報共有を重ねており、釈迦ヶ池の環境整備につきましては、引き続き同土地改良区と調整し、連携してまいります。また、同改良区からは、周辺の植栽も含めて、定期的に管理・清掃を行っていると同っており、地域の参画につきましても御意見として、共有させていただきます。
30	都市計画道路（豊中岸部線）に関する御意見【14件】	・公園自体の緑の存亡にかかわる都市計画道路の建設を前提とした案となっているが、紫金山公園に道路を走らせ切り刻んではない。 ・公園の緑を守るため、子供の通学の安全の為、住環境の破壊をもたらさないためにも、府道建設には反対だ。 ・都市計画道路の建設は環境破壊や自然環境への影響が懸念されるため、行政が要となりしっかりと大阪府に求めてほしい。 ・公園と並行した形で建てられている府道建設計画にあたって、公園と道路の境目における安全強化や、子供飛び出しの防止等、対応をお願いしたい。 ・都市計画道路には歩道橋の設置など、歩車分離できるような工夫をしてもらいたい。 ・都市計画道路豊中岸部線について、建設反対だ。都市計画道路の計画を中止する、路線を変更して公園内を通らないようにする、公園が分断されないような道路設計にする、以上のどれかを検討してほしい。 ・何故吹田市の関係者は都市計画道路の話を避けるのか ・都市計画道路についてすでに決定した事項について反対はしない考えだが、自然への影響に配慮することを求めていく具体的な内容は記されていないため、今後市民に対して具体的な配慮の内容を適切な時期(動かしがなくなる前)に情報発信し、議論の内容を踏まえ、進めていってほしい。 ・府道路計画はいろんな問題が出てくると思う。この地域の自然環境や歴史はとても私たちの財産であるため、保全していき続けるよう市が責任をもって府へ伝えて行ってほしい。 ・都市計画道路のトンネル化や蓋掛け等について、再議論すべき。高速道路と吹田市のハイウェイオアシス（地域拠点整備事業等）への布石となるような環境整備が重要ではないか。 ・キツネの生息や、多くの野鳥も確認され、閑静な環境にあり、府道の建設によりこれらが乱されないようにする必要がある。地域が分断されずに博物館への接続として、最低限ペデストリアンデッキや広場、それらを連結する未来型E Vやエスカレータ等の設備が必須ではないか。 ・博物館周辺には瓦窯遺跡、須恵器窯場跡、ピンク火山灰等もあり、博物館と周辺を新風土記の丘として再整備を行えるように府とも道路の蓋掛け協議が必要。 ・「博物館ゾーン」の後段で、「・都市計画道路をまたぐ動線整備については、他のゾーンとの連続性を確保するよう大阪府と連携を図ります。」を「・都市計画道路をまたぐ動線整備については、他のゾーンとの連続性を確保するとともに自然環境を後退させないよう大阪府と連携を図ります。」としてほしい。 ・歩車道分離の構造、地域分断が生じないように道路構造の見直し、道路上への広場確保が望まれ、公園、博物館、府道路の総合設計	都市計画道路 豊中岸部線につきましては、大阪府によって行われる事業です。当計画は策定当初から公園に隣接した道路計画であり、公園区域内を通ったり、分断するものではございません。一方で、公園区域内の里山環境・景観への影響や、公園利用者への影響が生じることは十分に考えられます。このため、大阪府には引き続き、公園管理者として、現在の里山環境・景観や公園利用を損なわないよう、求めてまいります。
骨子案以外の意見【5件】			今後の業務の中で参考にさせていただきます。

1

紫金山公園の魅力を再発見するためにも目指すべき姿の実現には最大限の努力を行って頑張ってください！

2

現在、名神の下や公園東側で回遊ができなくなっております。園内を安全に活用するためには、園外へ出ないで回遊できるようにすべきであると考えます。そのような整備を是非行ってください。

3

近所に住んでいる者ですが、犬の散歩をしている方が大勢いらっしゃるのでドッグランを開設していただきたいです。（吹田市には公園に併設されているドッグランがないため）

土日となれば家族連れが TENT を張ったり思い思いの休日を過ごしていてすごくいい公園だと思います。治安も良く、ゴミもほとんど落ちておらず、マナーのいい方たちばかりだなと感心しております。”

4

パークビジョンが目的から外れない内容であれば、いいと思います。
具体的な提案はありません。

5

もっと子どもも大人も集える場になる為に
トイレの整備をお願いしたいです。

今のトイレでは使えません…

防災の観点からかまどベンチがあり、定期的に体験できると、防災意識も高まり、有事の際に活用できると思います。

よろしくおねがいします

6

吹田市内に市営の無料ドックランがありません。

そのため、私は他市まで車で行っています。

犬も家族という考えが広がり、犬 OK の商業施設なども少しずつ増えてきている中で、吹田市でもペットと暮らしやすい街づくりとして、是非考えて頂きたいです。その先駆けとして、ドックランを作ることはどうでしょうか。

そして、犬の飼い主同士のコミュニティも広がり、より良い公園になっていけばと思います。

7

長く紫金山公園と親しんできたので、あまり今の形から変わってしまうのは寂しい。

ただ時代の流れで、バリアフリーと防災に関しては検討が必要であることは同意見である。これからも身近な里山として貴重な場所。子どもの遊び場、ファミリー層のレジャーと、大人の里山整備、植物観察などが共存できるようにしてもらいたい。

8

紫金山公園の目指すべき姿（案）はこれまでのワークショップの意見をよく反映されていると思います。

紫金山公園は里山環境が残されており、吉志部瓦窯跡および吉志部神社も存在し、吹田市においては自然および歴史的にも非常に重要な場所であり、これらを未来に残して行く必要があります。

里山ゾーンは放置すると遷移が進みアラカシ、クスノキなどの常緑樹林に変わります。そうすると現在見事に花を咲かせているコバノミツバツツジが衰退するとともにその他の夏緑樹も生育できなくなり、生物多様性が大きく損なわれます。これを維持するためには適切な管理が必要です。現在は市民団体の紫金山みどりの会が行っていますが、永続性を持たせるためには行政の支援が欠かせないと考えます。

紫金山公園は森林、ため池、水田があることによって高い生物多様性が保たれていると考えます。

紫金山公園の目指すべき姿（案）を実現するためには、これに関係するステークホルダーの協議会を設置し、協議していく必要があると思います。例えば、地域住民、活動団体、吉志部神社、指定管理者、行政。行政については公園管理をになっている公園みどり室、生物多様性に関しては環境政策室、水田を管理している経済振興室の参画が必要だと思われます。

その他、紫金山公園にはミシシippアカミミガメ、ウシガエル、アメリカザリガニ、カダヤシ、ブルーギル、アライグマなどの多くの特定外来生物が生息しています。これらを駆除する必要があると思いますが、吹田市は対策を講じないのでしょうか。

公園の課題

自然環境や歴史の保全

「魅力を発信するデザイン力を高めたり～ことも必要です」を「魅力を発信するデザイン力を高めます」に変える。

理由 必要に応じて民間事業者の力を借りることはありうるが、あくまで主体は市民と協働する行政であることを明確にするため

市民活動の次世代への共同

「市民、事業者、行政など、多様な主体が共同して」を「市民と協働した行政を主体として」に変える。

理由 必要に応じて民間事業者の力を借りることはありうるが、あくまで主体は市民と協働する行政であることを明確にするため。

目標像 個性の活力にある都市づくりを実現

「市民など多様な主体とともに」を「市民とともに」に変更する。

理由 行政として主体的に発信することを明確にするため。

つながりを実感できる暮らしを実現

「公園協議会の設置など」を「紫金山公園運営協議会を発展させ」に改める。

理由 すでに紫金山公園運営協議会があり、これは市が主体となって住民とともに公園について議論していくのに適した場であるため。

ゾーン別運営方針 F

「ドッグランなど」を削除する。

理由 すでに犬の散歩などには十分に利用されているため、特別なものを設置してまで行う必要がないため。

その他

公園の施設整備も、管理運営も ParkPFI や指定管理制度の適用を行わないこと。その理由は、市が主体となって住民とともに施策の具体化を図っていくことが重要であり、民間事業者主体になれば、住民の意見の反映を困難にし、行政の力量を低下させ、ノウハウを失い、ひいては監督もできなくなるため。

今回のこの案の方向性が出された大きな背景には、1つはパーク PFI の吹田市内の大公園での順次実施、2つにはコロナ禍にあるにも拘わらず、吹田市が大阪府に強く要望して再起動する事となった府道建設が迫ってきたからである。

(1) しかし、今回のワークショップ内で府道建設が話題となり、大阪府による地元説明会が行われた。以降ワークショップ内ではいくら声を上げても取り上げられなかった。又このパブコメでも同様に、この府道建設が公園自体の緑の保全の存亡に直結するにもかかわらず、府道建設を前提としたパブコメ(案)となっている。そもそもこの計画は60年前に計画され、ここ最近20年以上未着手であった。現在の気候変動危機・日本社会での車の保有などからもこの建設は全く時代錯誤の計画である。

ネット上では「この自然豊かな場所が、吹田のメインとしての千里の山の一角に位置し、良好な住宅街の基礎インフラとして最低限の自然環境を守っている」と評されている。この紫金山公園に道路を走らせ切り刻んではならない。

(2)私の建設反対の理由は3つ

①公園の緑を守るためです。今府道予定地は柵で囲われていても、動植物に関係ありません。しかし、道路となると別です。環境は破壊されて、公園は道路によって細切れにされ緑は更に壊されます。特に田んぼや池への影響は大きいと想像出来ます。今吹田の子供たちの未来に私達が出来る事は、最低限今の緑と公園を守る事です。

②子供の通学の安全のためです。毎日の交通誘導には、本当に頭が下がります。現行の道路に加え府道建設は小中学校の通学路を直撃します。子供達の安全・命が最優先です。信号や陸橋だけで守れる訳ではありません。無駄な道路を造らない事が安全を守ります。

③住環境の破壊です。現行のニュータウンや周辺の幹線道路では、タバコの吸殻やペットボトルに空缶等の投棄は、目を覆うものがあります。地域への愛着の無さと環境負荷への無知のもたらすものです。大人よしっかりとかりしろ！

特にこの府道は新御堂や高槻線との結合道として、他市からの交通量が大半となる訳ですから、周辺への配慮など期待出来ないですし、単に「モラル」の問題では済まされません。ゴミだけでなく道路と車から発生する様々の弊害を地域が負担する必要は無いと思います。子や孫へと住み続けたい吹田にする事が、求められていると思います。

(3)都市部における公園のあるべき姿とは・・・近年パーク PFI の例となった江坂公園と桃山公園を比較すれば、一目瞭然です。それは、人工物だらけの江坂公園では樹木が少なく土の広場に遊具と図書館などで賑わいは有っても静けさ落ち着きや自然は無い。片や桃山公園では造形物を極力減らし、真夏に木蔭でのんびり素足で丸太に座り安らぐ男性達の姿がよく見られる。どちらが全ての世代に寄与する

公園と言えるのか明らかだ。

しかし、その桃山公園での公園協議会を最近傍聴しました。開催は毎回 1 時間 30 分で終了する。事前に事案の詳しい説明資料や具体的アンケート内容や財源が示されておらず、事業者の企画優先は否めない。何でも民間丸投げの今の市のやり方は良くない。

（４）自然は奇跡を起こすと言われる。

トンボや水中生物が多数わく田んぼがある。また吉志部神社の裏手はトトロの森の様にコンモリしていて、森羅万象の生命を感じるものにしたい。ワークショップの中で吐露された「1 人でゆっくり泣ける場所」がここにある。まずは、今ある公園の復活をすべきである。例えば、掲示板の補修改善～A, E, B
ゾーンに複数設置されているが、半数は表示が曖昧で利用者に伝わりにくい又表示されていても赤ペンキが剥げていたりしている。又公園内には少なからずタバコ・ティッシュ・ペットボトルが少なからず放置されている。ゴミ収集など社会実験としてやってみるべきだ。

また長年公園の緑を保持されてきたボランティア団体の取り組みに共に汗水流す事も必要だ。特に私は A ゾーンに植樹が必要で夏でも涼める森が欲しい。

まとめると、道路の代わりに小川を流し、マンションの代わりに里山を創り、緑豊かな自然あふれる街創りをしていきたい。

付け加えて、ドッグランでは飼主のマナーと良識を盛り上げる取り組みにしたい。 以上

紫金山公園がさらに将来多くの人々に愛されるような公園になる事を願って考えました。

紫金山公園の他の公園にはない一番ユニークなポイントは、

ただの広い緑地の公園ではなく、

博物館や文化に身近に触れることができる「歴史・アート・カルチャーゾーン」、

市民がいきいきと楽しむことができる北側の「交流・アクティブゾーン」、

豊かな水場のある「ウォーターゾーン」、

それらの豊かな個性「文化、自然、人のつながり」が掛け合わせり、

歴史を継承し、未来へ紡ぐ、次世代感動創造パーク

紫金山「クロスパークシティ」構想

各それぞれの魅力をアップデートし、それらが掛け合わせることでさらに魅力を高めます。

歴史・カルチャー x アート x タイム・時空 x アクティブ x ネイチャー・フォレスト
x ウォーター x テクノロジー

それぞれの魅力を高めるために、例えば、デジタル技術の活用：公園の魅力（コバノミツバツツジ、吉志部瓦窯跡、釈迦ヶ池など）を AR/VR などの技術で発信

・博物館との連携強化：吹田市立博物館と連携したストーリー性のある立体的な展示や体験プログラムの開発

・AR 自然&歴史トレイル「Suita Quest」

●「つながり」と「交流」を促す公園へ

→ マルシェ、ワークショップ、キッチンカーなどを定期開催し、世代や興味の異なる市民の出会いの場に。

・とくに北広場エリアは、週末はテントを張ったりしてファミリー層が居心地よさそうに楽しんでいるのも紫金山公園ならではの特徴だと思いますので、アウトドア系の施設やイベントなどを催しても賑わいそうです。

●ハンモックコーナーの設置

●グランピングエリア：公園内に滞在型のグランピング施設を設け、自然の中で特別な時間を過ごせる空間を創出。

●フォレストサウナ & 循環水リトリート

里山ゾーンに、木々に囲まれた薪式フィンランドサウナ + 水風呂は釈迦ヶ池の濾過水を利用。

→ 地元材を使い、ローカル循環型施設に。週末には「自然音サウンドバス」や「サウナ瞑想」も。

・また釈迦ヶ池の濾過水は、災害時にも利用できる所以で非常時に安心。

●子どもや園児づれのファミリー層が多いので、エキスポシティにあるようなアスレチック遊具を設置

森林サウナ、グランピング、テラスなど「大人の癒し」エリアと、アスレチック遊具・昆虫の森など「こどもの遊び」ゾーンを両立。

●ランニングコース：公園の地形を活かしたトレイルランニングコースを整備し、健康志向の市民を惹きつける。

ランニング／ウォーキング／ヨガなど、健康増進の起点としても活用。

・ボルダリング施設：公園内にボルダリング施設を設け、新たなスポーツ体験を提供する。

●園内の見通し改善：「近寄りがたい」イメージの払拭のための適切な樹木伐採管理、またソーラー電力を活用し、サステナブルな夜間の照明ライティングで見通しや景観性を向上

●テラスカフェ「Shaka Terrace」

釈迦ヶ池のほとりに、癒やしのカフェ空間。南千里のバードツリーカフェのように公園の景観を楽しめ、季節によってコバノミツバツツジなどの自然も楽しめる。

・多様な財源確保：公園の持続可能な運営のための協賛金、クラウドファンディング等の活用

●スマート農業体験：公園内で、大学や企業と連携し都市農業を実践し、市民が実際に農業に触れる機会を提供する。収穫した作物は公園内のカフェで提供したり、マルシェなどで販売したりする。

1

紫金山公園は住民の手によって、常緑樹が伐採される等自然の保全活動がされ、コバノミツバツツジが今のように咲き 多くの野鳥や昆虫がいる自然豊かな公園になってきました。これからはいかにこの自然を守っていくかが大事なため、課題1にある魅力を発信するデザイン力を高めたり、新たな風を吹き込むは必要ないと思います。課題2の樹木が鬱蒼と茂っていて「近寄りがたい」とは思えず、反対にずいぶん整備され明るくなってきている印象があります。

そのためこの保全活動をされている市民団体が活動しやすいように、補助金の充実等をしていくことを盛り込んでほしいと思います。

2

課題3にキッチンカーやマルシェなど記載されていますが、公園の北広場ゾーンでは、休日や放課後等たくさんの子供たちが遊んでいます。紫金山公園は吹田市の他の公園に比べて狭く、キッチンカーやマルシェが来ると、今のように子どもたちが思いっきり遊ぶスペースが少なくなるので、反対です。

3

課題や目標像の中に事業者と共にや企業等とのマッチングを促進するとの言葉が入っていて、紫金山公園の管理の主体がこれまでの行政主体から事業者の管理にとの方向性がうかがわれます。企業が入ると利益優先の懸念があり、今ある自然の保全保護を第一に考えてほしいので今まで通り、市民団体の力を借りながら行政主体で進めてほしいと思います。

4

紫金山公園は博物館や吉志部神社、釈迦が池土地改良区、名神高速道路、都市計画道路の整備にあたり大阪府などいろんなところと連携しながら進めていくことが重要になってきます。そのためにも行政がその要になっていくことが大事です。都市計画道路は差し迫っていて、環境破壊や自然環境への影響が懸念されるためしっかりと大阪府に求めていってほしいと思います。

5

水辺探索ゾーンにドッグランなどと書かれていますが、池に水鳥が飛来するために犬のなき声は悪影響になります。 そのためにドッグランは反対です。

吹田市の全域が市街化区域に指定されている中であって、紫金山公園は里地里山の環境が残されている大変貴重な場所だと思います。

紫金山の林の中を歩くと子ども時代に雑木林で遊んだような感覚になり、五感が研ぎ澄まされていくような感じになります。

紫金山の林は春のコバノミツバツツジの開花に始まり、クロバイ、ツクバネウツギ、ナツハゼ、ネジキ、シャシャンボなどいろいろな花や実が楽しめ、秋にはアベマキ、コナラ、アラカシのドングリもたくさん実り、落ち葉を踏みしめて歩く音や足裏の感覚も楽しいものです。沢山の種類の鳥や虫の声も聞こえ、カブトムシが生息するなど素晴らしい環境が残されています。

町なかにあってこんな所は殆どないのではないのでしょうか。こういう環境をぜひ残し、今の子どもたちもこういう環境を体感できる場所であり続けてほしいと思います。

また、佐井寺西土地区画整理事業により、佐井寺や高塚、千里山西 6 丁目の田んぼや雑木林がなくなってしまいましたが、紫金山の田んぼは小さいですが、昔ながらの棚田の環境を維持している貴重な田んぼです。田んぼのような湿地環境に生息生育する動植物は今は普通種であっても、吹田市にとっては希少種になりつつあるように思います。

毎年 11 月頃になると、全国的に激減しているといわれているアキアカネが山を下りて紫金山の田んぼに産卵にやってきます。紫金山の田んぼは今年下側の田んぼが畑になってしまいましたが、田んぼ環境は大変貴重です。

紫金山公園は市内の他の公園とは違う、こういう里地里山という他にない魅力的な環境が維持された公園として保全していただきたいと思います。

1. 子どもたちの遊びに遊具を充実させるだけではなく、どろんこ遊びや落ち葉にダイブ、自然の中のブランコなど大人の目の届く範囲で自然を活かした遊びがいつでもできるような場所を作って欲しい。(横浜市のプレイパークというシステムが子どもの成長にも地域のつながりにもとても良かったです)

<https://www.yokohama-playpark.net/yokohamaplayparklist>

目指すべき姿にしては全体的にぼやっとしてる。

公園のなかの計画も示してないのに、名神や大阪府との連携ってどう進めるのでしょうか。

公園としての計画がなさすぎ、ゾーンわけして、その先は書かれていない。

「検討します、連携します、努めます」でボケボケ。

博物館と連携してパークセンター？ビジターセンター？？を検討するとは昔から博物館横に建てる噂されてる。博物館の横に建てるならどう活用するのか具体的に示すべき。何年検討してるのか。

それと関係ない意見だが、現在、駐車場からのトンネルをくぐるのは車両通行可能なか園内を車が走っている。事故したら公園が責任を取ってくれるのか。

全体的にキレイな言葉を並べただけで具体性がない。

この先を期待します。

1、現在トイレが非常に汚く、照明も暗いため、明るく見通しの良い仕様に変更してほしい。また今後大きな道路が通った際、地域外からの来場も増える見込みと考えられるが、その際に犯罪の温床にならないような防犯対策もしっかりと取ってほしい。

トイレは老若男女多数が使う場なので、バリアフリーを含めた対応など。

また広域避難場所になっていることから災害時（停電時）なども蓄電などで発電するような機能の充実を図ってほしい。（ソーラー発電機能付き外灯や災害時にも使用出来るトイレなど。）

2. 水場の増設。

現在、北側広場は水飲み場が1箇所、いつもその付近は混雑していたり、濡れている。もう少しきちんとした手洗い場などの複数箇所の増設を希望。災害時も水場が複数ある方が役立つのではないかな。

3、災害対応設備の充実。

広域避難場所と指定されている割には災害対応の設備は何も無い。また、地域の公共施設は少なく、（公民館児童センターのみで改修工事に入る）実際に発災した際、学校施設以外での避難拠点が乏しい為、屋外拠点として対応出来るようにしてほしい。防災倉庫の設置など。

4. 公園と並行した形で幹線道路計画が立てられていると思うが、公園から道路に出る境目などの安全強化、ボールや子どもの飛び出しなども考えられるため、その辺りのしっかりとした対応もお願いしたい。

公園機能とは関係ないが、歩道橋の設置など、歩車分離出来るような工夫もしてもらいたい。（佐井寺中学校前、東佐井寺小学校前など）

5 基本的には地域の憩いの場であり、正面にはマンションも建っている為、BBQスペース等の設置は反対。現在でも夏場の夜は夜遅くまで公園にたむろする人もおり、花火の悪質な使用など、何度も警察のパトロールがされている状況。手持ち花火は良いが打ち上げなどの規制はしっかりと欲しい。住宅街に隣接しているため、騒音や臭いなどでの住民トラブルに発展してしまう可能性もある。基本的には

住民の憩いの場であり、自然豊かな環境が紫金山の魅力のひとつなので、今の良さを残し、古くなった環境整備を整え、自然をしっかりと残した状況を維持してほしい。

6, 広場スペース、持ち込みテントの棲み分け。

現在、過ごしやすい季節は家庭用テントの持ち込みが多い。場合によっては非常に大型なものを持ち込み、子ども達のボール遊びをしているスペースにかかっていたりする。

子どもを見守りながら過ごすことを考えるとあまり分離してしまうと目が届かなくなるが、ある程度棲み分け出来たほうが、子どもの憩いスペースがきちんと確保されるのではないかと感じる時がある。

7, 釈迦ヶ池の柵の設置状況の見直し。

現在、いくつかの場所が釈迦ヶ池への乗り越え可能な柵の状況があり危険な状況。数年前にも死亡事故が起きている。事故や事件に繋がらないように、柵の見直し、また、池周り含め公園内のの外灯の増設などを検討してほしい。

17

子供達の集まる場所だけでなく、毎朝そこで運動するご高齢の方々も健康維持のため活動している姿をみえています。

日々の季節を感じる場所が少ないなか、四季を感じる桜の花は見事です。

遠方からも花見をしにきていました。

釈迦ヶ池や、吉志部神社同様

紫金山の姿を残してほしいと思います。

目指すべき姿としては、健康の吹田市なので全ての人が楽しく運動出来る器具を増やしていろんな方が運動に来てもらえるような公園がいいと思います。

紫金山公園は吹田市が認める貴重な自然から成る里山風景であり、歴史と自然文化を後世に伝えるべき重要な場所です。

近年、気候変動に伴い、自然が脅かされる状況のもとで、あらためて生態系の保全、生物多様性を取り戻していくことが必要とされており、紫金山公園に関しては、従来の風土記の丘構想に基づき、市が責任をもって維持していくことが大切だと思います。

目ざすべき姿とあるが、釈迦ヶ池やネクスコ（旧道路公団）との調整や吉志部神社、博物館との連絡、都市計画道路に関して一切もしくはほとんど触れられておらず、納得できる内容にはなっていないと思います。

違和感を抱くひとつに、目標像でつながりを実感できる“暮らし”とあるが、そもそも公園とは“憩い”の場であり地域住民が自然の中で安心して時間的空間的に憩えるところである。

ヨーロッパでは既に都市公園のありかたとして樹林を増やし、陰を作って気温を下げ水辺の環境を大切にしています。

吉志部神社の近景、遠景、鎮守の森として守られた樹木であり、池や田んぼなど保存するに適した条件が揃っているところです。

企業に頼らずに吹田市が責任を持って紫金山公園を守り維持できるよう主体的に取り組まれるよう切に望みます。

4月初め、近所の人達と紫金山公園にお花見に行ってきました。

桜が満開で、シートを敷いてお弁当を広げて、色々とおしゃべりしたり、歌を歌ったりして、本当に自然の中で楽しいひと時を過ごしました。

まわりを見渡すと、家族連れや若い人達が友人たちと集まって公園のあちこちでお花見を楽しむ姿が見られました。また、広場では子供たちが遊具で遊んだり、親子でボールを転がしたりして遊ぶ姿も見られました。

このように、紫金山公園の自然の中で、地域の人達が思い思いに過ごす姿を見て、改めてこの公園が市民の人達の憩いの場になっているのだなーという思いを新たにしました。また、毎年コバノミツバツツジを見るのを楽しみにされている方が私も含めていっぱいいます。

私は今の自然がいっぱいの紫金山公園が大好きです。カフェもお店も要りません。市民の憩いの場としての紫金山公園をこのまま残してください。

先日、みどりの絵画自然環境功労者として5月に環境大臣表彰を受けると聞きました。長年、この紫金山公園を整備して守ってこられたみどりの会に改めて経緯を表したいと思います。そして、鎮守の森や瓦窯跡などの守る為にも、これからも行政とみどりの会を中心にこの公園の管理を進めていってほしいと強く願っています。

私は、これまでは、紫金山公園には、時々友達に誘われたら笛を持って行って、笛の練習をしたり、季節の花や、紅葉を楽しんでいました。

今回誘われて紫金山公園プロジェクトに参加して、ワークショップを経験して、参加した人達の紫金山公園への熱い思いを知りました。今ある公園に何かをつけ足す。(ドッグラン、池をめぐる、自然環境整備、情報発信、ビジターセンターの計画、ステージ、などなど) 市が、市民と一緒に、公園のこれからを考えているんだなと感じました。

都市計画道路豊中岸部線について。私は計画で道路が紫金山公園の中を通って2つに公園を区切ってしまうことに反対です。公園の中に大型幹線道路を通すのは無謀です。公園の環境に悪影響を与えます。(排気ガス、騒音、交通事故、公園の一体感がなくなる。等) 一旦、道路ができてしまうと、ずっとだから、よく考えて欲しい。だから、

①道路計画を中止する。

②道路の路線を変更して、紫金山公園の中を道路が通らないようにする。

③紫金山公園が道路で区切られないような設計にする。

①か②か③を検討して下さい。

公園の課題③市民活動の次世代の継承の「市民・事業者・行政など～」の部分から「事業者」を削除する。①②③の課題の主体は市民と行政であり、その主体が必要とする事項内容に従って、事業者を活用するのが大切である。

事業者は市民の共有財産を利用して“稼ぐ”のが事業目的となる。その目的に反する事、内容、意見は排除に動く例はたくさんある。逆に稼ぎにつながることは、市民の反対意見は無視、押さえつけて、事業の目的のために突進する例はこれまたたくさんある。よって公園を守り発展させる主体から事業者を削除することを求めます。

樹木の剪定、掃除、落葉の処理など公園の維持管理を業者に委託されていると思いますが維持管理に関係のないキッチンカーなど儲けるための事業者になぜ場所を提供するのか理解できません。少し足を伸ばせば店はあるし、近隣の住民は軽食くらいもってくるのではと思います。パーク PFI も飲食店を念頭においてのことかと思いますが、なにより近くの飲食店と競合するものが吹田市の土地の上のできるのはあかんと思います。パーク PFI を使えという圧力も強いでしょうし、人件費や公園維持費の削減をさぞかしせまられていることとは思いますが市民の共有財産を安易に提供することにならないよう、契約内容や予算見込、年度収支等をしっかり公開する内容になることが必要だと思います。そもそも吹田市の予算が開発指向でなく自然と調和する住民本位の方向に向かえばみどり室の予算を倍増してパーク PFI も必要なくなるのにね。にぎわいと言えば盆踊りや、岸部神社のお祭り、自然観察会などで公園を使用してのつながりが大きくなることだと思います。飲み食いのにぎわいを求めるなら千里中央に行けばいいのではないのでしょうか。キッチンカーも含めた中小企業支援策は充実する必要があります。中小企業支援予算の充実を求めます。

少しというかだいぶ前に柴金山公園風土記の丘構想が多数の市民参加で策定されたということですが、その後の経過もふくめて案をねりあげていただきたいと思います

2023 年秋にみどり室が実施したアンケート調査と利用実態調査をホームページより見ました。2,525 件の回答と 2 日間の利用実態が今回の（案）の基になっているのかな。一言でいえば緑の保全を第一にしてほしい意見が多いと受け取りました。みどり室というのが市役所にあるのがいいですね、理念を見ると安心します。歩道沿いに花が咲き誇る季節になりました、みどり室と多くの個人団体が協力しているのだと思います。

4 月 7 日の出前講座は 5 回目のワークショップですか、初めて参加しました、熱心にねばり強く柴金山公園の自然を守る活動を行政と一緒に進められているのですね。釈迦が池の水をきれいにしてほしいという意見がありました、釈迦が池土地改良区と連携してとりくんでほしいと思います。

博物館の立派な建物は地域の防災拠点にも使えそうですね、都市計画道路が自然を壊すことが無いように十分な配慮を求め、近隣の住民や子供たちが楽しく遊べる「にぎわい」の企画があるといいですね、ジャルジャルは高いから遠慮してもらいます。「ドッグラン」は愛犬家の希望でしょうが今回見送りかと、C と D ゾーンの鬱蒼とした森も、明るい樹林帯も残してほしいです。

都市計画の決定権が自治体になりました、大企業優先のまちづくりをせまられつつも、住民の意見、運動を反映させ、市民のいこいの場、貴重な里山としても残す、柴金山公園のあるべき姿（案）にしてほしいです。

23

パブリックコメント

吹田市民になって 50 数年。
年々、緑が減ってきているように思います。
買い物の途中で通る道の「くすのき」が
ある日突然切られてショックでした。
紫金山公園の緑も貴重です。
公園は公園のままで、自然の保全を強く望みます。

24

紫金山公園は他の地域にはない吉志部神社・釈迦ヶ池・博物館をはじめ田んぼもあり緑豊かな鎮守の森もある公園です。自由に使える芝生公園・自由に散策できる南側の自然をこのまま残してほしいと思います。市民参加で議論され作られた「紫金山公園基本計画・風土記の丘構想」によってこの間整備がされて来たことはとても大きいことだと思います。

「紫金山みどりの会」が自然保全に粘り強く長年努力され続けてこられたことなしには語れません。皆さんの思いをしっかりと受け止めてください。

公園に賑わいをと強調されていますが、豊かな今ある自然を必要な手入れをしつつ歴史的観点からも市民の憩いの場としても是非守っていただきたいです。

都市計画道路の計画もありますが、かけがえのない紫金山公園です。長い時間をかけて今があります。吹田市として何十年の先を見据え市民の財産である自然を残してもらいたいと願っています。大きな災害が起こる可能性も高まる今、避難できる空間としても公園の果たす役割など市民の声を聞きながら進めていただけますように。

”私は出口町在住ですので、直接、関係がないように思いましたが、今度は片山公園も再整備の対象となると聞いていますので少し意見を述べさせていただきます。

いちばん気になった点は、これだけ立派な「紫金山公園の目指すべき姿（案）」をつくり、パブリックコメントも募集し、もっと立派な方針というべきものが出来上がるのに、それを作った吹田市が今後、公園の管理・修繕などに責任を持ちそうにないことに矛盾を感じました。すでに再整備された桃山公園の例を見てそう思いました。「桃山公園を守る会」の方に聞きましたが、特に気になった点は工事費の見積もりが130万円を超える修理などについては管理者（グリーンホスピタルサプライ）ではなく、吹田市公園みどり室が担当するとの事。見積もりを130万以上にさせるなど不正が起こるのでは？と心配です。2023年の台風の時に大木が道路側に倒れたのを早く駆けつけた市民が通報して、公園みどり室が木の伐採をしたが、管理者は後から来て何もしなかったこと。管理者はたくさんの市民が集まるようなイベントはしたが。一方、下草の処理・清掃はボランティアがしている。池の中に増え続ける水草のヒシはもうすぐ池を覆いつくすのではと心配など。管理者がいつまた「レストラン・カフェ・コンビニをつくりたい」と言い出すかもしれない。また、吹田市から管理者に支払われる委託料も1000万円？2000万円？。市民には民間がすることで税金の持ち出しが少なくなるような幻想を抱かせているように思えて仕方ありません。

2点目に気になった点はワークショップに中では「パークセンターの整備」や「ドッグラン」との意見は出ていなかったように、先日の出前講座の中で思いましたが。私は地域が違う事でワークショップに参加していなかったもので、確かなことは分かりませんが、そういう大事なことは市民からの意見がなくても吹田市からの重要事項として事前に周知させるべきではないかと思います。”

” まず初めに、「紫金山公園の目指すべき姿（案）」の素案作成を行って頂きました吹田市の関係者の皆さま、並びにこの素案前の「紫金山公園プロジェクト/ワークショップ（WS）」の関係者の皆さまに御礼申し上げます。

さて、この素案はあまりにも立派過ぎて紫金山公園近隣に住む一住民、そしてこWSに参加しました者として意見を述べさせていただきます。

「・・・姿」、吹田市の後藤市長を筆頭に関係者の皆さまはこの「姿」というものをどのようにお考えになられておられるのか、機会がありましたらお聞きしたいと思いますが、「姿」というものはその形が遠くにある時はボンヤリと見え、傍に寄ってみるとその輪郭がハッキリと見え、それを見た人々はそこに感じるのは「安心感」・「親近感」・「ああ良かった」と胸を撫で下ろすのであります。そうは感じませんか？

「素案」のカラーを見て、拝読して感じるのは上述のいわゆる人々の心の中に訴える何かが感じ得ないのであります。本来公園というものは、営利目的、万博のような華やかさを競うものではありません。公園とは人々の心奈々機に訴える何かを秘めていなければなりません。だから人々はその心の中に秘められたものを追求め、先の長い人生を多くの賛同者と歩むのです。

その様な中での「紫金山公園」は人々にどの様に映り、感じられ、何を今後に伝えるのか。

私は上述のWS（計4回+社会実験）に参加しました。WSでは「・・・目指すべき姿」に対し一生懸命議論し何が大事なのか、何を本当に求めるのかなどなど自分自身真剣に取り組んだと自負しています。

しかし、途中から出て来た「公園の中を道路」が走る。何？ 何の事か？ 吹田市・茨城土木事務所の関係者の話を伺ってもなかなかこの「・・・目指すべき姿」ととのイメージが合わず、困惑した事を覚えています。今思えば、何故吹田市の関係者はこの道路の話しの事を避けるのか。七不思議の一つであります。

「姿」言うものは、形があってそれを毎日のように見て良さを感じ、自分がそこにいる、言い換えればその「姿」といつあちになったと感じさせるものであると思います。

この様に感じるのは私だけでしょうか？ 山（紫金山公園）を削って、「姿」を変えさせ、「環境」を破壊し、「生態系」にダメージを与え、人の心を索漠とさせる、果たしてこれが「紫金山公園の目指すべき姿」なのだろうか。

いや、違う、絶対に違う。何故この事を私と賛同者以外の人々は理解されない、解らないのだろうか。いや、解っているはずである。

私はは道路の事を含め、もう一度本当に「紫金山公園の目指すべき姿」なる「紫金山公園プロジェクト/ワークショップ」を開催し、真の「姿」を見つめ直す議論をすべきだということをご提案致し私のパウブリックコメントといたします。

ありがとうございました。”

27

”1、南北の往来が分かりづらく行き来しづらい。

（1）案内板の設置

（2）南北行き来出来るように平坦な道で行けるよう整備する

2、南側が暗く入りづらい。

幅広い層が使えるように芝生ピクニックゾーンの新設

※摂津市が再整備している明和池公園のように改良する

3、南側もキッチンカー出店

岸部神社のお祭りの際にベビーカステラが出店しているが、南側公園内では見たことない。他のキッチンカーも呼び込み賑わいを創出”

紫金山公園の課題について

そもそも「紫金山公園のめざすべき姿」を策定しようとするのは何故なのかについては、この課題の項目に書かれていると思いますが、「計画の基本的な考え方や、これまでの取組を踏まえつつ、魅力を発信するデザイン力を高めたり、地域における生物多様性保全に知見のある民間事業者などとの連携など、新たな風を吹き込むことも必要」とされていたり、「市民による新たな利活用を促し、市民、事業者、行政など、多様な主体が協働して公園を利用・管理する持続可能な仕組みを考えていくことが必要」とされています。

しかしながら、以前吹田市が行ってきたアンケートでも、ワークショップでも、多くの市民の皆さんが現在の紫金山公園のありようについて、豊かな自然や歴史的・文化的な史跡、神社との共存、自由に遊べる芝生広場など肯定的な評価をされているのではないかと思います。それはとりもなおさず、市民とともに10年間かけて作ってきた「吹田風土記の丘・紫金山公園基本計画」とそれにもとづく整備が行政と市民団体（紫金山みどりの会）によって行われてきたことによるものだと思います。

こうした点を踏まえた記述となっているのでしょうか。

突然「新たな風を吹き込むことも必要」と言われても、住民からは何が問題なのか分かりませんし、「市民、事業者、行政など、多様な主体が協働して公園を利用・管理する持続可能な仕組みを考えていくことが必要」と言われても、なぜ利用・管理する主体に事業者が突然入ってくるのかもよく分かりません。公園の維持管理のため、伐採、剪定、除草や造作、その他の業務について業者委託することは当然ありますが、公園の利用や管理の主体として事業者が必要ではないかとの話はワークショップでもされていません。これまでの取組をきちんと評価し踏まえながら、それをより充実発展させる方向での記述が必要ではないのでしょうか。

以下具体的に提案します。

・「①自然環境や歴史の保全」の後段、「計画の基本的な考え方や、これまでの取組を踏まえつつ、魅力を発信するデザイン力を高めたり、地域における生物多様性保全に知見のある民間事業者などとの連携など、新たな風を吹き込むことも必要です。」を「計画の基本的な考え方や、これまでの取組を踏まえて、市民と行政との連携により紫金山公園の豊かな自然と歴史・文化をより充実、発展させることが必要です。」とする。

・「②安心・安全な利用環境の確保」で、「紫金山公園は起伏に富み、市民ボランティアによる散策路整備など、健康づくりや身近で気軽に心身のリフレッシュが図れる場ですが、樹木が鬱蒼と茂っていて「近寄りがたい」と感じている利用者もいます。公園内の複数の広場が分断され、場所のわかりにくさ、移動のしづらさが感じられます。」を「紫金山公園は健康づくりや身近で気軽に心身のリフレッシュが図

れる場となっています。南側は樹木が多く起伏に富む地形となっており、市民ボランティアによる散策路整備などが行われていますが、複数の広場が分断され、場所のわかりにくさ、移動のしづらさが感じられます。」とする。

・「③市民活動の次世代への継承」では、「現在園内では市民団体による環境保全活動が継続的に行われていますが、メンバーの減少なども見られるようになっていきます。」とありますが、認識も違っており、行政文書として一市民団体の内情について記述することはいかがなものでしょうか。「現在園内では市民団体による環境保全活動が継続的に行われており、そうした活動が今後も継続的に進めていけるよう支援することが求められます。」としてください。

・また、後段の「市民による新たな利活用を促し、市民、事業者、行政など、多様な主体が協働して公園を利用・管理する持続可能な仕組みを考えていくことが必要となります。」を「市民による新たな利活用と継続的な管理を促すために、「紫金山公園運営協議会」を再構築するなど市民と行政とが協働して公園を利用・管理する持続可能な仕組みを考えていくことが必要となります。」とする。

・目標像（パークビジョン）について

ここは、「紫金山公園のめざすべき姿」の中心となると思います。その意味では、公園の目標像というものとなっているのでしょうか。4つのテーマが、少し一般的な街づくりの目標みたいになっている文言みたいではないでしょうか。具体的には

・「個性と活力のある都市づくりを実現！」を「歴史と文化、個性のある公園づくりを実現！」とする。「活力ある」とは何を指すのか不明です。

・「つながりを実感できる暮らしを実現！」を「つながりを実感できる憩いの場を実現！」とする。公園で暮らすわけではないので、ワークショップの社会実験でもテーマとなった「憩いの場」を実現できる公園としたいです。

・「公園協議会の設置など多様な主体が参画する公園を目指します。」を「紫金山公園運営協議会の再構築など、市民と行政が主体となって管理運営する公園を目指します。」にする。

・「■地域に受け入れられるイベントなどを通じて」を「■地域や市民が行うイベントなどを通じて」とする。

・「■都市地域に残る貴重な自然として保全活動に取り組む中で、市民団体と連携し、名神南側のエリアでの自然共生サイトへの登録による、企業などとのマッチングを促進するとともに、地域の生物多様性の回復・向上に貢献する空間を創出します。」を「■都市地域に残る貴重な自然として保全活動に取り組みます。名神南側のエリアでの自然共生サイトへの登録など、市民団体と連携し地域の生物多様性の回復・向上に貢献する空間を創出します。」とする。

・ゾーン別運営方針について

この項目では、ワークショップで論議の対象となっていなかったいくつかのことについても触れられていますが、それは市民的な議論が不十分なものとなってしまっていることの表れではないかと思います。都市計画道路についていえばまさに設計にかかる時期タイミングでワークショップでの議論ができなかったか、博物館についても中期計画策定にかかわってのタイミングがあったのではなかったか残念に思います。釈迦ヶ池については土地改良区の管理ということは理解できますが、土地改良区さんからの問題意識などをワークショップに提供されての議論ができれば、もっと豊かなワークショップになっていたのではないかと思います。そうした思いを踏まえて、以下具体的に提案します。

・「水辺探索ゾーン」のところで、「・水際の植栽の管理、安全柵の補修などにより、安心して釈迦ヶ池の景観を楽しめる空間を創出します。」を「・水際の植栽の管理、安全柵の補修、更には土地改良区と連携して釣りの禁止徹底などにより水鳥の飛鳥促進など、安心して釈迦ヶ池の景観を楽しめる空間を創出します。」とする。

・「博物館ゾーン」の後段で、「・都市計画道路をまたぐ動線整備については、他のゾーンとの連続性を確保するよう大阪府と連携を図ります。」を「・都市計画道路をまたぐ動線整備については、他のゾーンとの連続性を確保するとともに自然環境を後退させないよう大阪府と連携を図ります。」とする。

・めざすべき姿のイメージについて

・「活動の PR チラシ」ですが、このままでは吹田市の活動と誤解を生じさせます。きちんとみどりの会を紹介する形で掲載する必要があると思います。具体的には「活動の PR チラシ」を「紫金山公園の保全活動を行ってもらっている紫金山みどりの会の活動の PR チラシ」とする。

以上、多くの提案をさせていただきましたが、各項目ごとに市としての考え方を丁寧にお示しいたきますようお願いいたします。

紫金山公園がより地域住民・市民に親しまれ、今後も長きにわたって豊かな自然と歴史文化を育むことができる公園となつてほしいと考えておりますので、一緒に取組を進めていくことができれば嬉しいです。

全体として賛同できる内容だと思います。

ただ具体策としてのゾーン運営方針で触れられていない事項やいくつかの希望について意見を述べます。

1. 休憩所の整備

現在私の知る限り屋根やパーゴラのある休憩所が9か所ほど在ります。

これらの休憩施設は使用できないほどではありませんが、老朽化したものや見た目がパットしないものも多くあります。

公園の課題の中でも記されている魅力を発信するデザインの対象としても適していると思います。

既存の休憩所は調和を重視したのか目立たないデザインとしているように感じます。私はむしろ目立つくらいの斬新さや話題になるようなデザイン、市民が行きたくなるようなお洒落なデザインを取り入れたら良いのではないかと考えます。

課題の中でも記されていた場所のわかりにくさも各休憩所が特徴を持ち目印として記憶に残ればその助けとなるのではないのでしょうか。

なお、現在ある休憩所の中にも好きなものもあります。お化け柳の近くにある竹製の休憩所は紫金山公園らしくて良いなと思っています。こういったものはそのまま残してほしいと思います。

それから各休憩所で花などを楽しめるようにしてはどうでしょうか。

例えば月見用の休憩所の前にススキが生えていたり、紫式部と清少納言の花が並んで咲いていたりとか面白くありませんか。

休憩所から離れますが、元気広場にあるロング滑り台の下の斜面がお花畑だったら楽しいだろうなとか思ったりしています。

私は花に詳しくないのでこの程度のことしか言えませんが、来園者が楽しめ話題になるような案はもっと沢山あると思います。

休憩所等のデザインについては市民からのコンテストとか若手建築家への依頼又はコンペなどが良いかと考えます。

2. 釈迦が池を一周できる散策路の整備

現在、名神高速道路での分断や地形の高低差などで釈迦ヶ池を一周することはできません。ただ紫金山公園の大きな魅力である釈迦ヶ池を巡りながら散策できたら楽しいなと思います。名神高速道路下の歩行空間の改善や歩きやすい歩行路の整備を行ってほしいと思います。

3. ヒメボタルが光りオオムラサキが舞う公園に

ヒメボタルやオオムラサキが生存できる環境整備から始めないといけないので難しいでしょうし、長期計画になると思います。

ですが植物でコバノミツバツツジや桜があり、生物でヒメボタルやオオムラサキがいる公園は多くの市民に長く愛され続けるのではないのでしょうか。

4. 新しい遊具の新設

子供の遊び場ゾーンにおいて既存の遊具や施設などの補修・更新とありますが、更新の具体的な内容がわかりません。

私は紫金山の利用を高めるのに遊具は最も効果があるのではないかと考えています。特に特徴のある遊具には好奇心を持つのではないかとと思います。

テレビで放送されていたボーンヘルンドが提供する様な体力向上を考えた新しい遊具や健康器具が紫金山公園にも導入されたら多くの人に利用されるのではないかとと思います。

5. 地図情報などのデジタル整備

ゾーン運営方針の全体の中でデジタルコンテンツの整備とありますが、具体的な内容がわかりません。

現在私がスマホで利用している地図情報では博物館、吉志部神社、釈迦ヶ池、通路、3か所のトイレなどが表示されています。

これにより大まかな自分の位置が把握できますが、十分ではありません。

今の案内看板に記されている内容プラス休憩所の位置表示、広場の表示、2パターンぐらいの散策路の色付けコースの表示があると良いかと思っています。

2パターンの散策路については比較的ハードな冒険コースと比較的バリアフリーな

一般コースにし、距離表示も入れるのが良いかと思っています。

また、公園内の樹木や草花に名札を設け、QRコードで調べられるようにすると紫金山公園の自然の理解や愛着を深めると思います。

それから、全ての広場、休憩所にも分かりやすい名称を付けたら良いかと思っています。

既存の地図マップに追加するのが良いのか、公園独自のマップが良いのかは私にはわかりませんが、そういうものがあれば場所のわかりにくさの解消にも繋がるのではないかとと思います。

6. 山火事対策

山火事対策は紫金山公園に限らず吹田市の山全体に必要と思いますが、本市の中心部に位置する事や神社、博物館、釈迦ヶ池などが在ることを考えると、独自の対策を考える必要性があるのではないのでしょうか。

災害時に活用できる施設の整備は勿論重要だと思いますが、公園全体が焼失する被害は計り知れません。

釈迦ヶ池の水源の緊急時の利用や公園内のルール、関係機関との連携体制、警報・避難計画など事前に整備しておくのが良いかと思っています。

すでに整備済みかもしれませんが、それならこの機会に広報で再度周知を図って頂きたいと思っています。

7. トイレの整備

トイレについては吹田の里ゾーンで改修との計画になっていますが、他の2つの

トイレについても改修や修繕を検討すべきと思います。

北広場ゾーンのトイレは府道が整備された後は、より利用度が高まると思いますので、将来計画として計画的に改修したら良いのではないかと考えています。

当面は男女のピクトサインの表示が分かり難くなっているもので、取り替えの必要があります。外壁の色の一部にでも青と赤の表示を加えると、より感覚的に判りやすいかと思います。

子供の遊び場ゾーンのトイレは男性の小便器が外から見える状態です。

子供広場はファミリーで利用しているのと、昔と比べてプライバシーを大切にする流れを考えると改善の必要があるのではないのでしょうか。

また、衛生面を考えると全てのトイレの手洗いの水栓は自動水栓が望ましいと思います。センサーの故障などメンテナンスの心配はあると思いますが、清掃員からの報告等により対応すれば、出来ないことはないと思います。

8. 散策路の整備

吉志部神社から西へ階段を下りてから西への通路が雨の日はぬかるんで歩きにくいです。この路はコバノミツバツツジがとても楽しめ、写真スポットとして最高です。

この通りを平瓦で 2m 幅ぐらいの通路として整備することを提案します。また、ここに竹製のベンチがあったら紫金山公園らしいかなとったりしています。

この通りのコバノミツバツツジを更に増やし映えスポットにできないかな。

あとどこかの散策路の一部に鉄道の町の記憶としてマクラギどおりや LED と竹を使った竹明かりどおりなどが在ると吹田らしくなるのではと思っています。

9. 小広場の整備

案内図には北広場、元気広場、瓦つくり広場と 3 つの広場が記されています。これ以外としては吹田の里ゾーンにある今回改修予定トイレ前の広場、博物館の南脇にある広場などがある程度の面積がある広場かなと思います。

私の考える小広場は 2 か所あります。

一つは北広場の東にある小広場で緩い半円形の縁石が特徴の広場です。

ここに北と南の両端に階段状のウッドデッキを設け、休憩所兼 20 名程度のミニコンサートやお茶会などができるようにしてはどうでしょうか。

階段下にお茶会用の折り畳みのテーブルを格納するのも良いかなと思っています。

二つ目は C ゾーンにある釈迦ヶ池近くの通路状(行き止まり)の広場です。

ここにお洒落なイス、屋外彫刻などを設け、静かに釈迦ヶ池の景観やカモなどを眺め・観察する広場として整備してはどうでしょうか。

他にも探せば見つかりそうですが、今私に思いつくのはこの二つです。

小広場の妄想コンペをやっても面白いかも。

10. 都市計画道路の整備

私は紫金山公園を通る都市計画道路は良いとは思っていません。それは現在の名神高速道路の姿が里山の自然と不釣り合いと感じるからです。勿論高速道路や幹線道路が地域の発展や渋滞緩和に寄与してきたことは認めます。ただこの人口減少の時代に 100 年先 1,000 年先を考えたとき、里山の自然の価値はより得難いものとなっているような気がします。

都市計画は 10 年程度の目先の利益や経済合理性を重視するより、100 年先の長期の視点で判断されるものと考えます。

ただ、すでに都市計画決定した事項について反対はしない考えです。通すか通さないか以外に通し方、環境への影響に対し具体的にどうするのかは重要な事だと考えています。

自然への影響に配慮することを求めていくとのことですが、その具体的な内容は記されていません。

今後市民に対して具体的な配慮の内容を適切な時期(動かしがたくなる前)に情報発信し、議論の内容を踏まえ、進めていってもらいたいと思います。

以上長々とコメントしましたが、計画の詳細では盛り込まれているものもあるかと思いますが、あえてコメント致しました。

少しでも参考になれば幸いです。

30

1. 紫金山公園の管理はこれまでどうり、行政が主体的に責任をもって行なって下さい。“多様な主体とともに…”という文言がよく書かれており、不安を感じます。市がきちんと方針をもって進めていってほしい。「紫金山公園基本計画・風土記の丘構想」が策定されていると思いますので、それに沿って整備をすすめていくのは、『市』でないと、できないと思います。
2. 紫金山公園は豊かな自然と空間に恵まれ、色んな人がのんびりと憩い、自分らしくすごせる場所です。現代のあわただしい生活を忘れ、自然にどっぷりとつかり、小さい子からお年寄りまで、いろんな層が一人一人自分らしくすごせる自由な場として、とても貴重だと思っています。こんな貴重な自然と歴史がのこる公園を、すぐ身近に感じて過ごせることは、市民として、とても幸せなことだと思います。このままの環境を、そっくりそのまま残していき続けるようなものにして下さい。
3. 紫金山公園は、地域の「紫金山公園みどりの会」の方々が、地道に自然の保全活動をしてこられました。その経過を大切にして、今後の方向性や方針を示していただきます。
4. 府道路計画においては、いろんな問題がでてくると思います。(交通量増加・渋滞・騒音・排気ガス問題・公園や近隣環境の悪化…等々) この地域の自然環境や歴史はとても大切な私たちの財産であるので、保全していき続けられるような計画になるよう、市から責任をもって伝えていってください。

31

公園の課題の中で③市民活動の次世代への継承

市民、事業者、行政など、多様な主体が協働して公園を利用・管理する持続可能な仕組みを考えてゆくことが必要となります。

目標像

- ・公園協議会の設置など多様な主体が参画する公園を目指します。

…上記、内容は公園協議会などを設置することを目指すになっている。

公園協議会を設置し、広く市民他、多様な意見を聴き、公園のあり方を継続的に見直し検討・提案して行ける組織としての活動をする必要がある。

1. そもそも、なぜ「紫金山公園の目指すべき姿」を策定しようとするのか
 名神高速道路の環境対策や高架下問題、新たに建設が予定されている大阪府道 岸
 辺北区の環境影響・博物館の大改修による情報共有・ビジターセンターの過去から
 の設置問題、釈迦が池の利活用問題、岸部第二小学校と周辺の環境問題等、総合的
 に解決していくべき問題が多すぎる。 府道のTN暫定化・ふた掛け等については
 再議論すべき

将来的には、高速道路と吹田市のハイウェイオアシス(地域拠点整備事業等)への布
 石となる様な環境整備が重要である。

(公園の概要)

- ・ キツネの生息、多くの野鳥も確認され静観な環境にある。
 - ・ 府道の建設により、これらが乱されない様にしたい。
 - 〃(府道の建設により) 地域が分断されずに、博物館等への利用として、最低限ペデ
 ストリアンデッキや広場、それらを連結する未来型 EV やエスカレータ設備が必要。
 - ・ 元来博物館東側への建設が予定されていたビジターセンターの構想場所は、空白
 地へ点線でも記載が必要である。
 - ・ 将来的な地域利用として、公園範囲の拡大や公園以外の周辺部への地域や児童等
 の利用を考慮し、ゾーニングへは、公園利用実態と計画図作成へ向けては、例とし
 て新たな芸能活動や運動の場余地を残して計画していくべきでしょう。
- ※北千里公園と同様に、企画財政室が主幹となり、長期計画の練り直しが必要

(公園の課題)

- ①里山景観・風土記の丘整備の記載が無い
- ②里山管理・周辺農地の保全も重要
- ③キッチンカー、マルシェの運営は行政が主体的に介入する問題ではない。

魅力向上に向けた理念

⇒何も新しい公園でもなく、

(目標像・パークビジョン)

- ・ 吹田市の他の部署にある政策との連携・表現方法は・？
- ・ 新風土記の表現 消失してしまった 吉志部神社と周辺を 50 年先へ向けた文
 化財のある(ゆるやかな)風景の創造へ向けて再整備
- ・ 紫金山公園運営協議会の復活
- ・ モリモリデーの様に行政主導ではなく、地域が主体となるイベントの引き出しと
 後押し
- ・ 釈迦が池の管理活動への地域参画へのいざない(誘い) 等

- ・生物多様性空間とビオトープコリドール等を高野台の緩衝林の事例等から、地域の里山・耕作地等のつなぎ、歴史性等からも再見直し

(ゾーン別運営方針)

- ・将来的な地域利用として、公園範囲の拡大や公園以外の周辺部への地域や児童等の利用を考慮し、ゾーニングを示した計画図の下地は、黄緑に着色しておくべきでしょう。

A 仮にパークセンターは、北広場へ、ビジターセンターは、博物館東の芝生余地へ性格を異にするものは、別途に整備していくべきでしょう。

B 昆虫や身近な動植物の発生源として、縮小しない様に管理していくべきでしょう。

C モニタリングをしっかりと行い、今後の長期管理推測を

D 里山管理等へ興味を抱く看板や峠等に道標（ネーミング等）の充実を

E 公園西側のAゾーンとの案内連携を進め、釈迦が池や名神高架下回遊性を

F 公園の管理活動として、花壇等の整備も

釈迦ヶ池管理組合と協議し 定期的な池中清掃活動に市民が参画し加われる様に

G 博物館や周辺には瓦窯遺跡、須恵器窯場跡、ピンク火山灰等もあり、博物館と周辺を新風土記の丘として再整備できる様に府とも道路のふた掛け協議が必要。

協議の余地

1, 佐井寺中学等

過去から名神高速道路の大気環境問題により影響を受け、現在は沈静化しているが、引き続き地域の管理活動との社会的な関わりについて協議

府道路と公園利用の歩車道分離の構造へ向けては、周辺マンション住民にとっても大いなる興味の対象

2 地域交流の芽

名神高速道路の上り線側には緑の広場があり、梅園も整備されていた。また紫金山公園みどりの会が管理している梅園等も名神高速道路の下り線側の東法面にあり、毎年博物館の観梅会でも利用されている。これらのボランティアの基地等としても、ビジターセンター整備は必須である。

3 岸部第二小学校・岸部第二集会所・つくし少年野球クラブ

公園と部道路を介して、小学校以外にも地域の活動拠点があり、未来へ向けてこれからの地域分断が発生とない様に、敷地計画 道路構造の見直し、道路上への広場確保が望まれ、府道路の擁壁等基礎や歩道・自転車断面にも設備を含め余地を残し、公園は、博物館と二・三階部を歩行共有、府道路は、博物館一階部を半地下で潜り込む等総合設計

紫金山公園は吉志部神社、窯跡など、とても大切な史跡があり、また、さまざまな樹木、池、コンクリートではない土の道など、自然豊かなところ
です。

散歩しているとほっとして、本当に癒されます。

ストレスフルな現代人にとって、自然そのものはなくてはならない心と体の疲れを
とってくれるものだと思います。

（案）の公園の概要の部分は本当にその通りだと思います。

しかし、「公園の課題」の③で、いきなりキッチンカー、マルシェ、事業所というも
のが出てくるのは理解できません。

紫金山公園は、今のままにしてほしいです。ヘタな人工的なものに変えてしまうの
はやめてほしいです。

紫金山みどりの会の方々やさまざまな方々がボランティアで自然豊かな紫金山公
園を守って来てくれました。子どもたちにも

今のままの紫金山公園を残してほしいです。

よろしくお願いします。

紫金山公園の目指すべき姿（案）を拝見しました。

ここに書かれている通り、公園は歴史的な史跡もかゝる自然豊かな公園だと思っています。

まず、民間事業者ありきの論点整理になっていることに違和感を持ちました。

①自然環境や歴史の保全の項で、地域における生物多様性保全で知見のある民間事業者などとの…とありますがそんな事業者など存在するのですか？自分の無知で申し訳ないですが、例えばNPOとか大学等の研究機関とかの協力を求められるのなら現在のボランティアで支えられてきた部分を行政が責任もってやればいいのかと思います。

③市民活動の次世代への継承 のところでも、メンバーの減少なども懸念され…一方でキッチンカーなどの活動があげられていますが、そんなキッチンカーとかの活動が従来なされてきた市民による環境保全活動とはちがうものではないかと感じました。

災害に対して柔軟に対応し～ 災害時に活用できる～の部分は民間の力を借りるのが有効かなと思います。全体にうたわれている自然の保存や環境問題は行政がやらないで誰がやるのか！と思います。